

第6次総合計画策定に係る【農業】産業別若者懇談会 会議記録（要旨）

開催日・出席者等

開催日時 令和2年10月16日（金） 19時00分から20時30分まで
場 所 文化センター 3階ホール
出席者 町民14名（別添参加者名簿のとおり）
竹節町長、農林課長、農業振興係長、総務課長、企画係長、企画係員
（株）地域総合計画

協議状況（説明・懇談事項）

- 進行（総務課長）
 - 1 開会（総務課長）
 - 2 挨拶（町長）
 - 3 第6次山ノ内町総合計画について（企画係員）

懇 談

【発言】 懇談会参加者意見

【回答】 役場出席者意見

【意見1】

SDGsとユネスコの部分が町の魅力として大切かと思っていて、例えばSDGsだと農家にとっても取り組んで行くテーマかと思うが、我々が取り組まなくてはいけないものの提示とか、町として用意されているか。

【回答1】

SDGsの農業としての取り組みということですが、基本方針としてユネスコエコパークを活用した農業振興ということが大々的に掲げているところでして、SDGsも非常に大切なことだと思いますが、今の所SDGsの関係は盛り込んでおりません。

【意見1-2】

山ノ内町は非常に環境が素晴らしくて、志賀高原があって、温泉があって、その下に我々の畑があるという素晴らしい環境の中で、農協の熱が冷めているのは非常に残念なことです。SDGsの取り組みをどこよりも早く、しっかりと働きかけて、農家へ町から伝達を上手にしていだける機会というか、生産者や農協に対してこうやってくれというような方

向性を示してもらえると助かると思う。

例えばこういう取り組みをしたいから教えて欲しいと言ったときに、コーディネートしてくれる方とかそういったことはあるか。

【回答 1 - 2】

コーディネーターみたいな方は現状具体的には考えていない。

【意見 1 - 3】

これをどこの産地や産業よりも取り組めば若い人の意識が変わってくると感じている。子どもたちは ESD の体験学習など積極的にやっているが、我々世代は子どものころ、そういったことは教わらずに育ってしまっているので、改めてそういうことに一同に取り組める機会があればと思うのでよろしくお願ひしたい。

【回答 1 - 3】

今いただいたご意見はこれからの農業のポイントになると思う。環境という方向から農業にどう取り組むかということは非常に大事なことだと思っていて、裏を返せば町の農業の PR ポイントや強みに繋がっていくと考えている。極端な環境配慮となると手間ばかりが増えて現状に即さないという部分もありますので、その辺の調整をはかりながら、環境的な部分に関して今いただいたご意見を加味しながら今後の農業施策に生かしていきたいと思っている。

【回答 1 - 3 - 2】

SDGs については、今回総合計画の中に新しく出てきた課題・目標という部分で入れている。まだまだ我々も知識が足りず勉強しているところというのが現状。産業にしても教育にしても、我々の活動が SDGs のどの目標に寄与するものか整理を行っている段階です。本日は基本構想全体をお示ししていませんが、特に教育の分野に関しては、各学校で自分たちの活動はどの目標に向かっているか日々の学習の中で整理されているようで、本計画の中でも教育に関しては全ての SDGs の目標に寄与するものであると捉えている。ユネスコエコパークに関しても、SDGs の目標達成に寄与するモデル地区であると国際的な位置づけをされている中で、ユネスコエコパークという本町の特性を生かしながら各産業に生かしていく。ユネスコ担当係長からも、ユネスコエコパークを産業に活かしていくのは非常に難しいところではあるが、この5年間で積極的に取り組んでいきたいと聞いていますので、産業との連携を重ねていければと思っている。答えになっていないかもしれませんが、我々も SDGs の勉強を始めているということでご理解いただければと思う。

【意見 2】

今こちらにいらっしゃる方は町のトップの方々かと思うが、説明の最中にウトウトしている方もいて、本気でやられているのかなと感じてしまう。

今回のアンケートが前回のものからほとんど何も変わっていないように思える。4ペー

ジ目の住み続けたい、町外へ移住したいとあるが、年代別のパーセンテージでは住み続けたい方のパーセンテージが高いのは60歳以上で、この年代では動くのが苦になっているとか、いまさら新しい土地のコミュニティに参加しづらいという面で高いのだと思うが、逆に、40～50代が一番低い数字になっていて住み続けたいと思っていない。移り住みたい理由は「できれば移りたい」と「すぐにでも移りたい」の合計値になっていて、自分は山ノ内で育ってきているわけではないが、ここに出ている数値は理解できるように思う。交通・買物という部分では、こういう山間地では厳しいのではないかと、雪に関しても行政で早朝片づけていただいていると思うが、細かいところまでやれという方がいらっしやっても人件費やコストの部分で難しいのかと。自分の場合だと、古いしきたりや近所づきあいが煩わしいというのが移り住みたい理由として妥当なところかと感じる。

11 ページの一番下「この課題をどう解決していくか」という中で、地域づくりとか定住者とか、少子対策とか出生率を上げるとか色々あるかと思うが、今年度出た長野県の住みたい町ランキングの3番目に入っているのは市町村の中では村。南箕輪村だが、平成の大合併で合併しないで残っている村で、合併せず地域特性を活かした村で高評価をされた形だが、その中で出てくるのが、若い子育て世代にかなり政策的な部分で優遇されているのと、公園とかがかなり整備されていて、山ノ内でも去年のふるさと納税でユネスコエコパークとやまびこ広場の方にお金が回っていたりとかして、そういう部分に関しては一定のことはやられているのかなと思うが、若者世代に向けてのものがどこの自治体と比べてもほぼ同じとか後出しみたいな形になっていると感じる。今は人口の取り合いになっていて、結局魅力がなければ人口が減っていくっていう、簡単なゲームだと思う。それをどうやったら魅力が出るかというのをもう少し考えていただいた方がいいのではということと、高齢者が多いのでそちらに予算をある程度つけないといけないと思うが、20歳代がボリュームダウンしていることは明らかだと思うので、その辺がどうしたら帰ってきたいと思えるか、他の地域からどうやったら呼び込めるか、今ある町のような手当てではなくて、もう少し違った形の面でのものやっつかないか。東部であれば中野市のベッドタウン的な扱いで人口が増えてもおかしくないと思うが、結局増えていないということは、色々足りない点があるのではないかと思う。例えば、小布施町はカップルで新規就農者の募集をかけているが、ちょっとハードルは上がるが、そういうような方で来られた場合、もう少し何か手当てがあるとか。この計画を読ませていただいても、本気度が足りないと思うのだが、その辺についてどう思っているか。

【回答2】

多岐にわたってご意見をいただいた。子育て世代支援、公園の整備等が重要な部分かと思うが、この辺については広報不足の部分もあると感じている。他の市町村に比べて山ノ内町がものすごく進んでいるということはないかもしれないが、劣っているという部分もないと思っている。むしろ、山ノ内町の方が先行している部分が多いと思うが、これが皆さんに知れ渡っていない部分が多いかなと感じている。公園の整備については、親水公園の整備をさせていただいて、一時に全て行うというのは難しいので、徐々にやっっていくということでご理解いただきたい。さらに、社会体育館がかなり老朽してい

て危険な建物になっているということで、取り壊して周辺をみろく児童公園と一体とした整備をする計画もあり、徐々に進めてきているのが現状。

中野市のベッドタウン的な考えもあるかと思うが、ご承知の通り、中野市も現在は人口は減少している。昔は中野市があつて山ノ内があつて野沢があつて木島があつて、いろんな町や村の人口が中野市に流入して、ある程度中野市の人口は微増だった時期があつたが、今は北信エリア全体が人口減少傾向にあるということで、なかなか人口を増やしていくのは厳しいというのが感じているところ。

真剣さが足りないという部分だが、山ノ内町の職員もこれをやったら絶対にいいというのがなくて、手探り状態で行政を進めてきているというのが現状。そういうものがあればすぐにでも実施していきたいと思うが、私も長く行政職員をやっている中で、優れた特効薬がないというのと、限られた予算の中で行政は数多くの業務をやっているかなくてはいけないということで、ひとつの事業に対して例えば10億とか投じてやっていくのも難しいということもあるので、そういったジレンマもある。それにしても、このままでいいという風には全く思っていないので、町の職員も真剣にこれからも考えていきたいと思うし、皆さんから具体的な意見や提案があればお聞かせいただければ、実行できるものは実行していきたいというスタンスでいますので、その都度ご提案いただければと思っている。

【意見2-2】

確かに特効薬みたいなものはいきなり出てこないもので、トライ&エラーでなんでもやってみないと。後で振り返って良かったのか悪かったのかが本来必要だと思うし、資料を読んでいて思ったのが前年の計画に対して、何が良くて何が失敗したのか振り返りが全然足りないのかなど。

予算を上げるためにも人口を増やしていくことがどうしても必要なことで、ふるさと納税の前年対比で結構なプラスで出たと思うが、プラスになっている要因は色々あると思うが、返礼品を考えてみたりとかして、住んでいる方の税収だけでは厳しい部分をふるさと納税で賄うという方向が山ノ内町として一番効率良く、早い方法だと思う。返礼品を増やしたり選択肢を広げたりすれば税収が上がってくるのではと思う。

企業を呼ぶとなると現状厳しいので、人口を減らさないためには出生率を上げられる世帯をどう増やしていくかが非常に重要な問題だと思っている。せめて日本の平均よりも減少率を低くするにはまず何をしたらいいのか、周辺の市町村からの人口を奪い取るしかなくて、山ノ内町では中野市にない政策があるというのを打ち出して、良い考えではないのかもしれないが、とれるところからどうとっていくかということになると思う。いかに他市町村にはない魅力的なものを出せるか、そこに結局予算をつけなくてはならないわけだが、そういうところにふるさと納税で項目を入れてみたりしてもいいのではと思った。

【回答2-2】

いろんなご意見をいただきありがとうございます。ふるさと納税では昨年度3億円を目指しておりましたが、結果的には約2億5千万円の納税をいただいている。一昨年度は約2億円位ですので、5千万円ほどの増加ということになるわけだが、その中で返礼品が約

3割、各所への手数料を差し引くと、約50%が身入れとなるので、1億2500万円が実際の山ノ内町の収入になる。仮に5億になれば2億5千万の実収入になるということなので、おっしゃられる通り、税金を上げていくのが難しい今の状況の中で、ふるさと納税を増やしていくのは有効な手段かと思っております、メニューを増やすこととか、山ノ内町のサイトを見ていただけるような取り組み等も進めている。我々だけで返礼品を考えるには限度があると思いますので、ぜひ皆さんの中でもこういったものが返礼品として喜ばれるのではないかと、こういうものがあればぜひ総務課へご一報いただくとありがたいと思っております。

また山ノ内町の強みといたしましては観光地ということだと思います。やはり観光と農業の振興を図っていくべきだと考えており、その他の産業を進めていくのはかなり他との競争を考えた時に難しい部分があるので、その辺を中心に進めていくべきなのかなと考えている。コロナウィルス感染症の関係で首都圏ではテレワークが進められているが、この点でもかなり強みがあると思っております。豊かな自然があって温泉があって、ホテル・旅館があって、そういったところをテレワークの施設として使ってもらうことも山ノ内の場合は考えられると思っておりますので、こちらの方も併せて研究していきたいと思っております。いずれにしても、皆さんから貴重なご意見をいただいて、検討させていただいて、計画の方に反映させていただければと思っております。

【意見3】

就農して3年になる。10年程県外に居て、家業の農業を継ぐために戻ってきた。質問は、新しい産業が中々難しいという部分はあると思うが、新しい産業や企業を立ち上げていくとしたら何か検討されているものはあるのか。人口が減るということは、仕事がないということだと思う。僕の同級生でも仕事を機に出ていく人が多い。観光と農業を磨いている中ではあると思うが、なかなか人口が増えないということは、やはり新しい何かを立ち上げる必要があるかなと感じるが。意見としては、宮城県の女川町というところでボランティアをしていたことがあるのだが、その町は非常にスピード感があって、町長が若いということもあって、民間との距離感も近いし外部の活用がすごく上手だなと思った。町の中心部に人を集める動線を引くのがすごく上手で、町の人たちと交流するのがすごく上手だなと思った。山ノ内町は東西南北に分かれている中で、どこかに集まって交流するということがあまりないと感じていて、買い物するにも中野に行ってしまうし、町内で何かをするとかお金を落とすとかということがあまり無いように感じていて、町民をこの町の中で流動させる動線みたいなものを考えてもらうといいのかなと考えている。

【回答3】

新たな産業は難しいという件だが、山ノ内町は観光商工業と農業が主産業という中で、新たなものというはなかなか難しいという状況で現在に至っている。ただ、今はコロナの関係もあって、そういう時代の中でいろんな分野や新しい切り口のものが出てきているので、若い皆さんのご意見をお伺いする中で、出来るところから取り組んでいきたいと思っております。現状で何か考えているかという、正直追いついていないところがある。テレワーク等も流行ってきているので、こういったことがいいのではということがあれば、教え

ていただければありがたいと思うし、研究していきたいと思っている。

民間との距離が遠いのではと動線についてのご意見はまさしくそう思っている。コンパクトな町、いわゆる国が進めるコンパクトシティのように中心に全部集められるかというところ、本町は人が住んでいる地域がかなり離れていて、なかなか難しいと考えている。そうはいっても行政コストの関係もあるし、様々な想定の中で、色々な研究をしていかななくてはと思っている。人は減っていくけれども、依然として旧来の村が変わらず存続していくことがいいのか、人によって色々な考えもあると思う。時間もかかる内容だと思うが、より効率のいい行政運営できるようなことを考える必要はあると思うので、ご意見を参考に取り組みを進めたいと思う。

【意見 3-2】

例えば産業の中で、エネルギー関係を検討しているか。いわゆる自然エネルギーと呼ばれるもので、この町だと温泉の地熱であったりとか、農業の果樹の廃材とかを燃やしたりしているが、そういった自然のものを活用してエネルギーを生む。エネルギー産業は雇用を生むし、ヨーロッパでは小さな村でも存続できるだけの雇用を生める産業で、北信の広域で電力を賄えるくらいなものをやるとか、せつかく志賀高原があつてエコパークがあつて、そういう部分の繋がりをもっと活かすには自然のエネルギーを活用していくのがいいのではと思うので、検討いただきたい。

【回答 3-2】

一部議員さんの方からも自然エネルギーをうまく活用できないかというお話をいただいている。平成 22 年に町も新エネルギービジョンを策定し、研究をしながら目標に向かって取り組んでいるところだが、なかなか難しい部分もある。温泉の権利の問題であったり、水利権の問題であったり、ひとつずつクリアしていく必要がある。太陽光も有効だと思うが、この景観を売りの 1 つにしている観光地にメガソーラーをつくるのはどうかということ、なかなか難しい。小規模なダムを造って水力発電を行って、雇用を生んで儲かっている市町村があるという情報は得ているが、本町においては色々なことをクリアしながら進めていく必要がある。有効に使える自然エネルギーについてはしっかり勉強しながら進めていく必要があると思っているので、ご意見を参考にさせていただく。

【意見 4】

移り住みたい理由の中で「交通や買物の面でより便利な土地で暮らしたい」が 5 年前も今回も一番高いが、自分も 3 年前まで町外に出ていて、戻ってきて思ったことがある。自分が子どもの頃には個人商店が多かった記憶があつて、今は高齢化や後継者がいなくなつたりで閉店する方が多くて、そもそも町で買い物するところがなくなったなど感じる。車が運転できる人であれば中野市へ行けるが、高齢者など買物弱者は買い物ができない。他の地域では移動販売車が出たりとか聞くが、そういうものはこの町で検討していたり考えはあるか。例えば、地域の方が集まれるような週に何回か決まったところで買い物できるようなものとか。

【回答 4】

ご意見に近いものとして「わくわく商店街」を開催している。各地域からの送迎車を用意しており、買い物をして家に送迎するというものはやっているが、それが皆さんの要望している品物を扱っているかということ、何とも言えない部分もあります。

【意見 4-2】

利用客の方はどのくらいか。

【回答 4-2】

人数は把握してなくて申し訳ないが、「わくわく商店街」については、高齢の方や中々外に出られない方がいらっしやっていると思われるので、若い方の参加というのは少ないと思う。みんなで集まってお茶を飲んで買い物をしてということで、利用されている方には好評だとは聞いているが、ご意見であったような大規模なものではありません。

【意見 4-3】

ICT の活用という中で、町の有線放送が廃止になり希望者が申し込めば設置できるような物があると聞いている。県内でもローカルテレビ等で農作物の出荷が今日はkg何円ですということが流される仕組みがあったりするようだが、そういったものを含め有線放送に代わる情報を一括に発信するものの考えは。

【回答 4-3】

有線放送の最後の担当者で、現状は廃止している。利用率が当初は 70%と多くの方が利用されていて、利用料をいただいて維持管理できていたものが最終的に 50%を切ったということで、老朽化もあり維持ができなくなったということで廃止した経過がある。皆さんへの情報提供の部分では、防災無線のデジタル工事に合わせて個別受信機というものがあって、防災無線からの情報が入ると、町からのお知らせも朝 6 時半の定時放送ということで入れている。個別受信機が現在約 1,200 台ということなので、山ノ内町は 5,000 戸ある中で%でいえばわずかということになる。それを補完する形で SUGU メールというものがある。各自のメールに入ってくるものなので、登録いただければ町からの情報は流せるようになっている。また、今は携帯のアドレスを持っていない方も多いため、LINE での発信も検討を始めたので、新たな情報発信として町からのお知らせが出来るよう整備している。ローカルテレビについては今のところ考えていない。

【意見 4-4】

IoT 技術の発達で農作業が自動化になると書かれているが、IoT 技術が発達してスマート農業の取り組みが多くなってくると思います。農業は経験がものをいふと言われていて、新規で入ってくるには大変だったり、親から言われて身につく形が多いが、他地域では、経験ではなくて気温や土壌の状況をデータ化して見える化してやっている取り組みが多く

見られると感じる。スマート農業の部分、山ノ内町として各個人が取り組みれば補助が出るとか、一括してグループ等で取り組みたい場合に町でサポートしてもらえるととか、どんなことを想定しているのか聞きたい。

【回答 4 - 4】

スマート農業や ICT、IoT 関連の補助はあると思う。希望される方がいれば町から県へ繋いで補助制度等を調べるが、町としての補助ということは今のところ考えていない。ただ、新しい農業の形ということで承知しているので、農協や生産者の声を聞きながら今後検討していきたいと思っている。

【意見 5】

24 歳で就農はしていないが、山ノ内町で育ってきて、この町が好きで、僕が育ってこられたのは親が農家でリンゴやぶどうという農作物のおかげだと思っている。自分が就農するという時に、親が今までやっていた畑を植え直すということになるとお金がかかるなどと思っている。箱山の方はだいぶ耕作放棄があつて、そういった園地は草だらけだったり切った木の根っこが残っていたりして、借りて復活するにはひと手間かかったりするので、そこに対する支援が町からあるといいと思っている。

農協も絡んでくることかと思うが、町の品目毎の売上げを見ると、ぶどうがどんどん稼いでくるようになると思う。近ごろの報道ではぶどう泥棒がいて、カメラ等防犯対策への支援を町としては考えているか。

最後に、自分は何年後かに就農すると思うが、その時に町からどういった支援があるか教えてほしい。

【回答 5】

耕作放棄地を復活させる事業について、町の単独事業で荒廃農地復活事業の補助金を活用いただきたい。上限等の条件は後ほど詳しくお伝えする。

昨今の盗難事件に対する防犯システムの補助について、町でそういう事件があったということは耳にしているが、近隣で発生していることは承知しているし、農協と連携しながら必要に応じて支援を考えていきたいと考えているが、今のところ補助等は特に想定はしていない。

新規就農者への補助については、新規就農された年に就農奨励金ということで交付している。また、農業機械の購入に関することとか、様々な事業がありますのでご相談いただきたい。

【意見 6】

私は今農業に関わっているわけではないが、この町の将来について興味があつて真剣に考える場に参加したくて出席した。

移住して 2 年になる。関西からやってきたが、この町は外から見るといろんな強いコンテンツがあつて魅力があつて素晴らしいなと思って、憧れてやってきた。実際住んでみて、

2年経って、魅力に関しては思っていたものと遜色ないと確信している。その中で、全国の例に漏れず人口減少問題が顕著に出ていることは、今回の資料を見てもよくわかった。ただ、この町ほどのコンテンツがあれば新しい産業を呼び込まなくても今の産業を盛り上げることができれば、例えば買い物などは中野市へ行くでも全然いいと思いますし、中野市の商業を逆に養ってやっているくらいな感じでいいんじゃないかと思っている。町外で消費している以上の外貨を町内で獲得できれば、十分そういう状況はつくれるかなと思っている。

どうしていくかということに関して個人の意見だが、まちづくりの課題の7ページの(2)の地域ブランドの磨き上げと基幹産業の強靱化というところの一番下、「観光と農業が互いに連携することによって生まれる付加価値、ストーリーを持った独創的な魅力で地域ブランドを高める」というのがすごくこの町の強みを出せる部分かなと思っている。この強みを生かすということで課題としてあげられて、次の9ページの施策の大綱というところで、具体的にどうしていくのかというのがこの資料からだと思えばいいかなと思う。いろいろ考えておられると思うが、そこの部分をもっと見えたらいいなと思う。

この町を外から見ていて、入ってきて一番以外に感じたのは、観光とか農業とか地区でそれぞれ全然違う方を向いているなということ。町に入ってきてすぐに足並みが揃っていないなと感じたので、なかなかそれをまとめていくのは難しいし、歴史的な背景もあると思うが、これをやらないとこの町の強みに繋がっていかないと思うし、足を引っ張り合うことになると思う。ほんとうに難しいこととは思いますが、一丸となって取り組んでいくためには、そういうことをしていく事業者が必要なのか、役場が先導していくのか色々な方法があると思うが、本気でなんとかしないと将来がないかなと思うくらい大きな課題だと思う。ひとつの産業とか魅力だけではなく、この町はたくさんあるので、バラバラではなくハイブリットでクロスさせていくことによって強みにすることができると思うので、そこはぜひ今後取り組んでいただきたいと思っている。今日の農業の話の中で農業と観光を連携しましょうということですが、観光の担当の方がいらっしゃらないのはなぜかなと思っている。農業は農林課ということだけではなくて、観光の目線で農業をどう生かすのか、どう認知度を上げていくのかということを中心にみんなで考えていこうというところは本日の場からは感じられない。こういう機会にクロスしてみんなで考えることができたらいいなと思う。

今回総合計画をつくられる中でいろんな懇談会の議事録を拝見させていただいたが、総合計画ってほかの町に当てはめても同じではないかという指摘があって、それに対して今後懇談会を重ねていく中で山ノ内らしさを出していくとおっしゃられていたのだが、大きなことや特色あることをしようと思うと後から微調整していただくとなかなか大きく舵を切るのは難しいと思う。役場の方である程度舵を切った上で意見を頂戴する方がもっと結果が生まれる気がする。役場は全部しようとなりがちだが、選択と集中は絶対必要だと思うので、切り捨てるということはないと思うが、こっちに力を入れていくということをもっと明確に旗振りしてリードしていただきたいと思う。町の価値はこれ！というのを役場から出して行って、納得して付いていく人はもちろんいると思うし、納得せず離れていく人もいるかもしれないが、付いていく人を増やす、その力を強くするということ

がもっと重要ではないかと感じている。さきほどの移住したい町の上位に入っているところは、おそらく自分の町はここに力を入れていくということ、子育て世代を大事にしますということを明確にして、不要な予算を明確に落としていく中で公園は整備します、そういうことをするとその町に住みたいと思って共感する人が増えていくと思うので、明確に特色を出して行くのが大事かなと思った。これだけ資源がある中で全部を立ててはいけないというのももちろんわかる。そのうち1つ捨てるということは絶対できないと思うが、何らかの方向性を町で見出していないと、誰か引っ張っていくリーダーが地域に現れるのを待っていても難しいかなと思う。今ある資源をブラッシュアップしていくことと、明確に町の方針を打ち出していくことはすごく重要なことだと思うが。

ほかの方の意見で思いついたことだが、移動販売のサービスは効率が悪く、負担が大きく難しい部分があるかなと思った。現状コープデリとかデリバリーサービスが町の中を走っているのを見かける。他に選択肢はないようで、私は神戸で生活クラブというものをやっており、こちらでもやりたいと思ったら、配達に来ないということであきらめていたが、町の中で何人か同じ希望のお母さんがいて、共同で買うということになったら小布施までは配達してくれるということで、小布施の拠点まで5人くらいのお母さんが持ち回りで取りに行っているのが現状だが、例えばそういうものを町でもう少し支援したり呼びかけて山ノ内まで来てもらえるようにするか個配ができるようにしてもらえれば、お年寄りの世帯にも食材が行き届くのかなと思った。もともとある事業者のものを使うという意味では、町の投資もそんなに大きく要らないと思うし、うまく民間の力を使っていくのもひとつかなと感じた。

情報発信について、先ほどLINEの話があったが、LINEの資料を見ていると色々なことができるなということと、今の普及率を考えたら相当使えるツールかと思うので、研究されていく中でLINEをもっと積極的に活用していくことは必要かと思う。その中で、そういったものがわからないお年寄りへの支援をしていくことも、町民への広く効果的な支援に繋がるかなと思う。

【回答6】

様々なご意見等をいただいた。全てに対して私が今ここでお答えは申し上げませんが、今のいろいろなご意見については町である程度進めている部分もあるし、足りない部分も当然ある。かなり有効と思われるものもあったので、貴重な意見として今後の参考にさせていただければと思う。

3観光地のことについては、昭和30年の町村合併以降、観光の分裂といいますか、いわゆる3観光地の統合がいわれてきたこと。正確には観光地を統合するという意味ではなく、PR方針みたいなものを町として行っていきたいというのがかなり昔からあった。今の団体だと、山ノ内町の観光連盟がその役割を担うのかなと思っている。いずれにしても、観光連盟については今後体制の強化などを含めて行っていきたいと考えているので、できるだけ町の統一した観光宣伝ができるようにやっていきたいとは考えている。

【意見 7】

先ほどの観光と農業の連携というところで、コロナ禍で今年は旅館業が思うように経営ができないということで、農家に従業員の雇用を回してもらえないかという話をもらって、正直、農家の経営的には良かった。人手があって仕事ははかどるし、品種にもよるがわりと値段もいい。旅館の従業員さんも仕事が生まれたというところで、コロナ後にもこの形が継続していけば、外には直接向いていないかもしれないが、観光と農業の連携という部分で新しい形が生まれてくるのではと思う。そうすれば農家さんの人手不足もかなり解消できると思うし、農家の仕事をしてみようかなという人の窓口にもなると思う。ぜひ町や農協が仲介して、旅館さんとかで人手が余っているけど農家さんで受け入れてくれないかというような繋ぎを継続していただければと思っている。

小学校の統合について、何年か前までは活発に地区懇談会を開いていたが、現在計画が立ち消えになったような雰囲気、どうなったのか情報提供が全くなくわからない。この10年計画の中で統合の方針を示したり、小中学生の教育方針をしっかりと、また特色あるユネスコエコパークやSDGsを取り入れて山ノ内独自で子供に自然環境の中でしっかり教育できるようなものを定めていただきたい。保護者同士で話していると、合併がどうなっているのかというのが一番不安に思っていること。小学校でもクラスに10人前後に減るような学年が増えてきているので、合併はどうなっているのかとみんな言っている。合併に向けた段階的な計画を、しっかりとつくってもらいたい。自分の理想としては小中学校一か所に集まっているんな行事や教育、活動を幅広い学年で、小人数なら少人数でいい学習ができるメリットがあると思うので、そういうところを目指していければいいと思っている。しっかりと計画作成いただければと思う。

【回答 7】

コロナウィルス感染症が落ち着いた後でも、農家の人手不足を解消するためにも観光と農業のタイアップは必要だと思っている。その辺の繋ぎは今どういうシステムで行われているのか不明なため具体的に申し上げられないが、いずれにしてもその話は農業サイドにも観光サイドにも伝えたいと思う。

小学校の統合問題については、かなり前に一定の方向性を出しているが、近いうちに統合は必ず行わなければいけない状況であることは、皆さんご承知かと思う。子どもの生まれる数がものすごく減少してきている中で、近い将来統合しなければならないというのが現実かと思う。総務課の立場では正確なことは申し上げられないですが、教育委員会の方で真剣に方向を出そうということで、総合教育会議等開催して進めている。近い将来基本的な方向は出せると聞いているので、もうしばらくお待ちいただきたい。

【意見 8】

観光と農業がバラバラというのは役場内も一緒なのかなと。農林課と観光商工課のロッカーを隔てたところに分厚い壁があって、とても重苦しい空気になっている。業務に追われているのはわかるが、思い切ってあれをなくしてもう少し円卓のような形にしたりとかどうか。結局立派な計画をつくっても、我々には産業を魅力的にしたい情熱があるが、役場の中からは情熱

が見えない。あの状況だと絶対出てこないと思うが。お互いの課で微調整して終わり、で、10年経ってまたどうしましょうかという話になる。大胆な発想で変えていただいて、若い町の職員がもっと活発に自分の意見を言って活躍できるような形で、それで我々とコミュニケーションとれるような形が非常に好まれるのかなと思っている。今日出席しているメンバーは、農林課や総務課やいろんな事業に対して協力的なメンバーで、農家にはそういった若い人がたくさんいるので、私たちのような者をもっと使っていただいて、みんなで交流できるような役場の環境を整えていただければ、魅力的な計画や仕事ができるんじゃないかと思っている。ぜひお願いしたい。今回の懇談会みたいな形式だとほとんど意見交換できないので、できればグループ形式でもっと意見を出しあって詰めていくようなものを数年に一回でも開催してほしい。若い人が意見を言える会が必要。

【回答8】

観光と農業の間には分厚い壁があるということで、役場としては正直思っていなかったもので、今ご意見をいただきまして、外からの目ではそういったこともあるのだと感じましたので、検討させていただければと思う。いずれにしましてもいただいたご意見については何らかのアクションをしていかなければならないと思っているので、今後の参考にさせていただければと思う。

4 その他（企画係長）

5 閉会（総務課長）

以上